

**Rushton Moral Resilience Scale-16™ (RMRS-16) © 2023**

**モラルレジリエンス尺度日本語版**

原版: Johns Hopkins University, Dr. Cynda Rushton

日本語版: 綿谷恵子, 氏原将奈, 太刀川弘和 (筑波大学)

(許可なく複製を禁じる。)

説明:

以下の質問に答えるにあたり、あなたが過去 3 ヶ月間に職務上の困難な倫理的状況にどのように対応したかを思い出してください。

この尺度は以下の項目で評価してください。

- 1= 同意しない
- 2= あまり同意しない
- 3= やや同意する
- 4= 同意する

**【16 項目版】**

- 1. 私は、倫理的に難しい状況になると、無力感に苛まれる (R)
- 2. 私は、倫理的な懸念を、他の人が真剣に受け止めるような方法で表明する
- 3. 私は、長いこと続く倫理的な葛藤に圧倒される (R)
- 4. 私は、困難な倫理的状況に直面した後、苦悩がぐずぐず私に重くのしかかる (R)
- 5. 私は、倫理的な難題に直面したとき、自分の葛藤をはっきり言葉にすることができる
- 6. 私は、倫理的な課題に直面したとき、プレッシャーを感じても、明確に考えることができる
- 7. 自分の意見を他人に批判されると、私は自分の価値観を妥協してしまう (R)
- 8. 私は、仕事の役割の中で、倫理的課題を論理的に考える能力に自信がある
- 9. 私は、自分の価値観に従って行動するよりも、自分より権威のある人との衝突を避けたいと思う (R)
- 10. 私は、倫理的な課題に直面したとき、自分にとって健全な範囲を超えて自分を追い込む (R)
- 11. 私は、倫理的葛藤が起こったとき、他人の強い感情に気を取られがちである (R)
- 12. 恐怖心から、私は自分の価値観が揺らぐような行動をとってしまうことがある (R)
- 13. どのような状況でも、私は自分の価値観と一致することをする

14. 私は、自分の価値観に従って行動する強い信念がある

15. 私は、自分の選んだ行動に責任をもつ

16. 私は、他の人が反対しても、行動を起こす意志がある

スコアについて:

項目は4つの下位尺度で構成されています。

1)モラル逆境への対応、2)個人的一貫性 1、3)人間関係的一貫性、4)モラル効力感

すべての項目は、スコアが高いほどレジリエンスが高いことを示すようにコード化する必要があります。このためには、前ページの項目リストで(R)が付けられた否定的な表現の項目を再コード化する必要があります。各下位尺度のスコアは、その下位尺度に関連する項目のスコアの平均値を計算して求めます。以下の具体的な手順を参照してください。あるいは、16項目すべての平均値をとって総合スコアを算出することもできます。

下位尺度スコア:

モラル逆境への対応=(項目 1+項目 3+項目 4+項目 10)/4

個人的一貫性=(項目 13+項目 14+項目 15+項目 16)/4

関係的一貫性=(項目 7+項目 9+項目 11+項目 12)/4

モラル効力感=(項目 2+項目 5+項目 6+項目 8)/4

総合スコア:

Total RMRS = (項目 1+項目 2+項目 3+項目 4+項目 5+ 項目 6+項目 7+項目 8+項目 9+項目 10+  
項目 11+項目 12+項目 13+項目 14+項目 15+項目 16)/16

RMRS-21 での(No.)

モラル逆境への対応=(項目 1(2)+項目 3(4)+項目 4(5)+項目 10(14))/4

個人的一貫性=(項目 13(17)+項目 14(18)+項目 15(20)+項目 16(21))/4

関係的一貫性=(項目 7(10)+項目 9(13)+項目 11(15)+項目 12(16))/4

モラル効力感=(項目 2(3)+項目 5(7)+項目 6(9)+項目 8(12))/4

尺度作成についての論文:

(原版論文)

- **Heinze KE, Hanson G, Holtz H, Swoboda SM, Rushton CH. Measuring Health Care Interprofessionals' Moral Resilience: Validation of the Rushton Moral Resilience Scale. *J Palliat Med.* 2021;24(6):865-872. doi:10.1089/jpm.2020.0328**
- **Rushton CH, Hanson GC, Boyce D, Holtz H, Nelson KE, Spilg EG, et al. Reliability and validity of the revised Rushton Moral Resilience Scale for healthcare workers. *J Adv Nurs.* Published online 2023. doi:10.1111/jan.15873**

(日本語版妥当性検証論文)

- **Wataya K, Ujihara M, Kawashima Y, Sasahara S, Takahashi S, Matsuura A, Lebowitz A, Tachikawa H. Development of the Japanese Version of Rushton Moral Resilience Scale (RMRS) for Healthcare Professionals: Assessing Reliability and Validity. *J Nurs Manag.* 2024;2024(1). doi:10.1155/2024/7683163**